

子どもの読書に関する調査（保護者アンケート）

1. 調査のあらまし

姫路市子ども読書活動推進計画は、第2次計画を策定するにあたり、小学校4年生から中学校3年生までの児童生徒にアンケート調査を実施しました。

今回、第3次計画を策定するにあたり、前回の調査がカバーしていない0歳から8歳までの状況を把握するため、該当の年齢の子どもを持つ保護者を対象に、市内の小学校、幼稚園、保育所、星の子ステーションでアンケートを実施しました。

2. 調査実施時期

平成27年5月中旬～6月中旬

3. 対象

0歳から8歳の子どもの保護者を対象に、有効調査票1174件を回収。

4. 調査内容

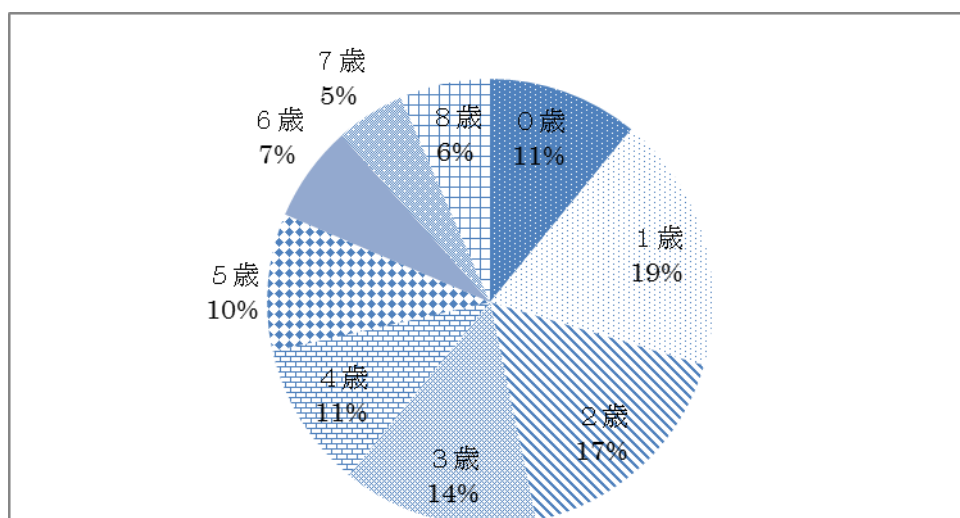
次のページに掲載の通り。

5. 集計結果

■あなたのお子さんについて

(1) あなたのお子さんの平成27年4月1日現在の年齢をお聞かせください。（ふたり以上のお子さんを持つ保護者の方は年下のお子さんでお答えください。）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
128人	219人	201人	167人	124人	117人	82人	59人	77人



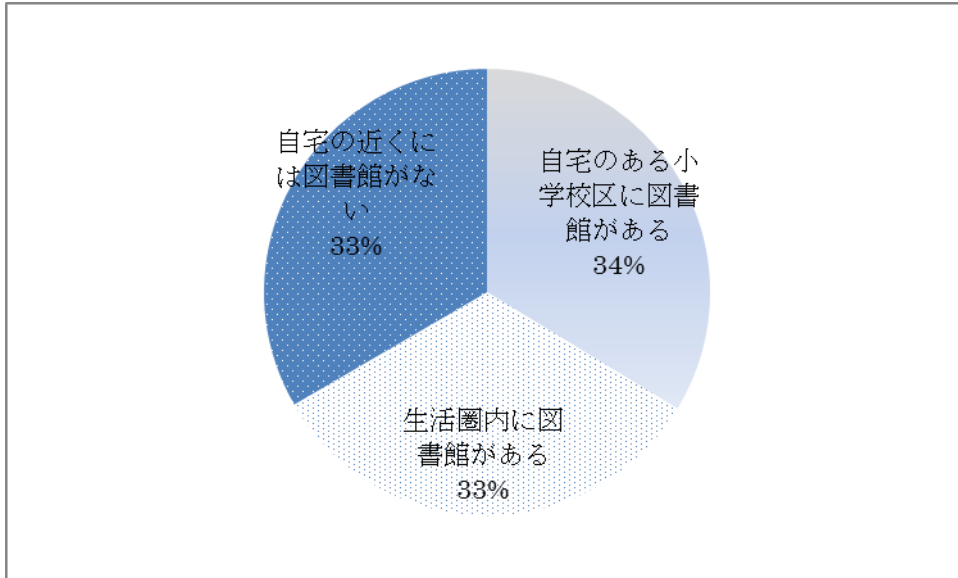
0歳児保育の対象児童が少ないことより年下のお子さんでの回答を求めたところ、就学前のお子さんを対象にした回答の比重が大き過ぎる結果になりました。

■図書館について

(2) 自宅から図書館までの距離はどれくらいですか？

- ① 自宅のある小学校区に図書館がある ②日常の生活圏内（利用するショッピングセンター程度の距離）に図書館がある ③自宅の近くには図書館がない

① 396人	② 386人	③ 392人
--------	--------	--------

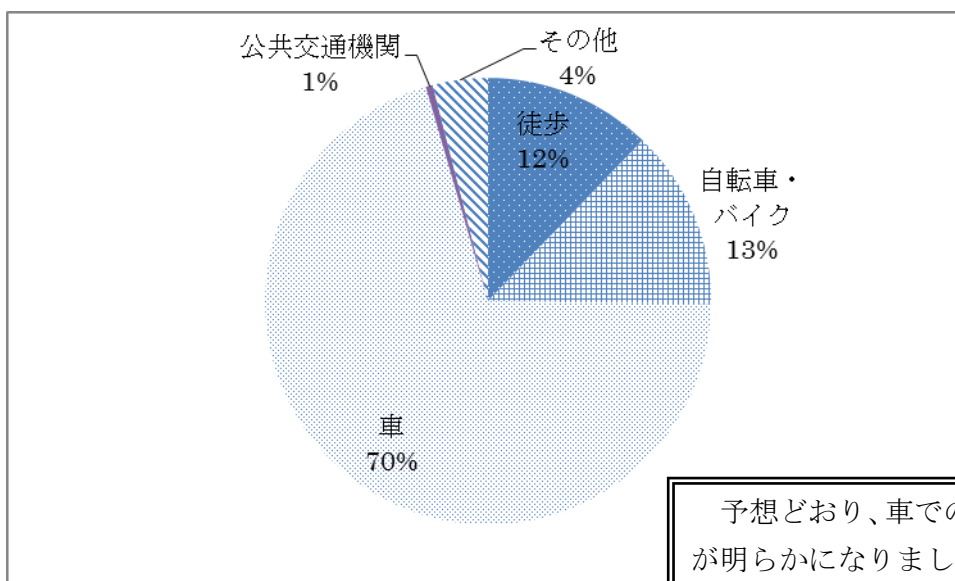


図書館が遠い方や合併町にも配付し、なるべくさまざまな条件の方のご意見が伺えるようにしたところ、図書館までの距離は狙い通り均等に意見収集できたようです。

(3) 図書館へは、主にどんな交通手段を利用して来館されますか？

- ① 徒歩 ② 自転車・バイク ③ 車 ④ 公共交通機関 ⑤ その他

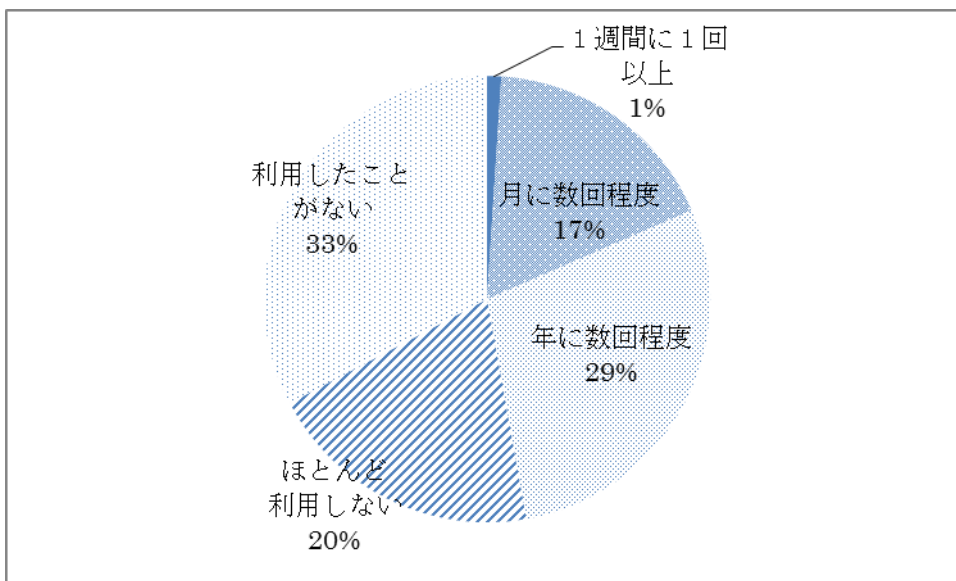
① 143人	② 153人	③ 460人	④ 6人	⑤ 28人
--------	--------	--------	------	-------



予想どおり、車での利用が多いことが明らかになりました。

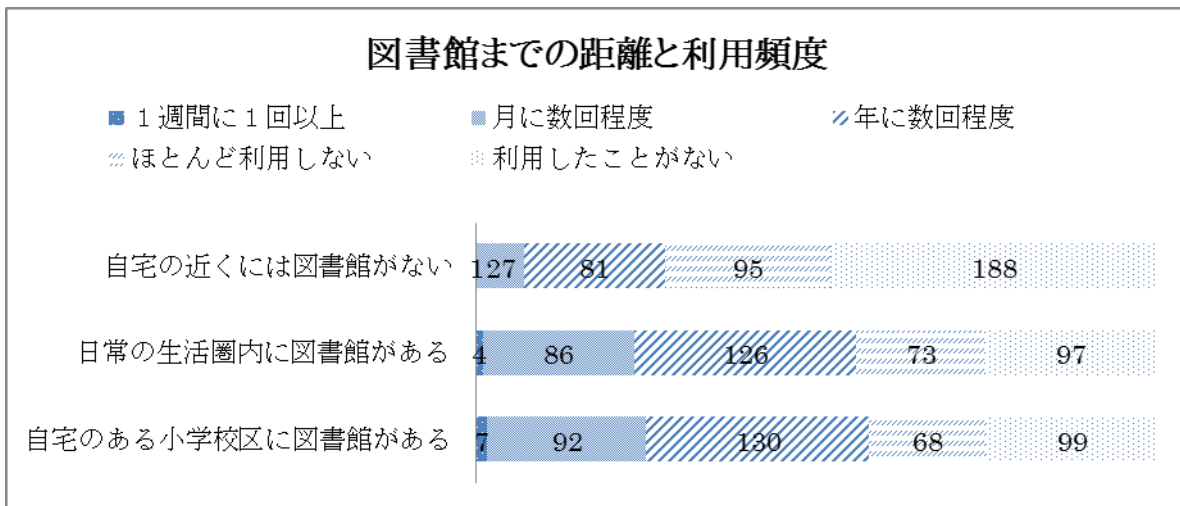
(4) お子さんと一緒に図書館を利用される頻度は、どのくらいですか？

- ① 1週間に1回以上
- ② 月に数回程度
- ③ 年に数回程度
- ④ ほとんど利用しない
- ⑤ 今まで利用したことがない



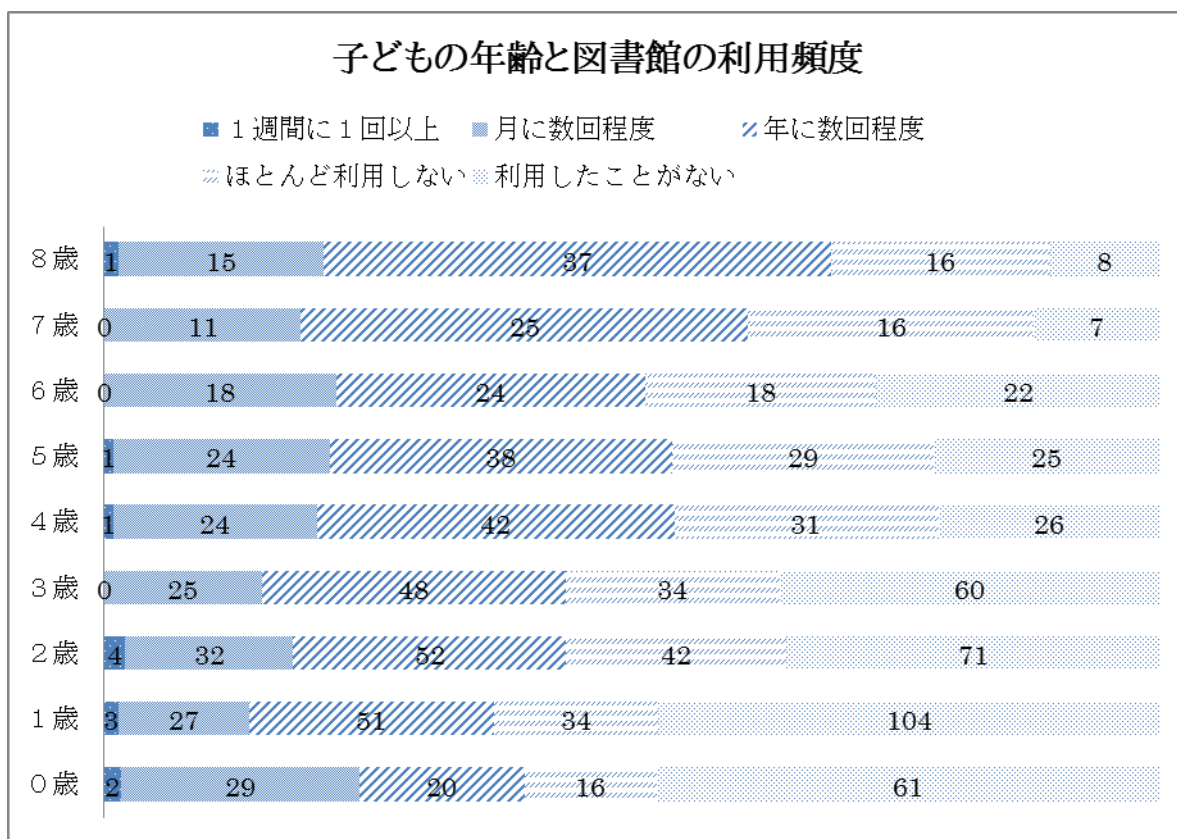
図書館を「利用したことがない」「ほとんど利用しない」だけで半数を超えます。これに「年に数回程度」を合わせると8割以上になります。図書館を日常的に利用していただくに至っていない、こうした方々への働きかけが今後の重要課題です。

また、この「図書館を利用する頻度」に(2)の「自宅から図書館までの距離」を組み合わせると、次のようになります。



「自宅の近くには図書館がない」と答えた方は「図書館を利用したことがない」が約半数の48%。「ほとんど利用しない」の24%も合わせると72%に達しています。これ以外の方は、約6割が年に数回以上利用されていました。

今度は子どもの年齢と、図書館の利用頻度を比較してみます。(2)と(4)の組み合わせた結果が次のグラフです。



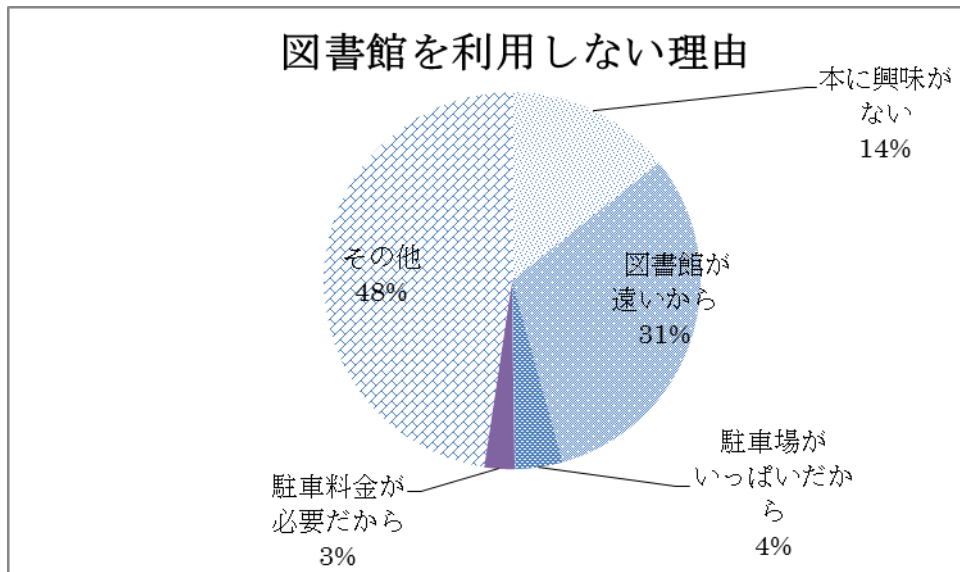
やはり、子どもが小さいほど図書館の利用頻度が低いことがわかります。例えば8歳では、図書館を「利用したことがない10%」「ほとんど利用しない21%」で、これ以外の7割が利用していますが、0歳では逆に利用しているのは4割で、「利用したことがない48%」「ほとんど利用しない12%」が6割を占めています。

(5) (4)で「ほとんど利用しない」「今まで利用したことがない」と回答された方にお尋ねします。利用しない理由を選んでください。

- ① 本に興味がない ② 図書館が遠いから ③ 駐車場がいっぱいだから
 ④ 駐車料金が必要だから ⑤その他 ()

①本に興味がない	②図書館が遠いから	③駐車場がいっぱいだから	④駐車料金が必要だから
87人	192人	25人	16人

⑤その他：「家を買った本があるから」「家にもらった本があるから」「保育所から持って帰る本があるから」という意見が多かった。他に「まだ小さいから/興味を持ち始めたら」「どこにあるか知らない」「行くのが面倒」「仕事の休みと図書館の開館時間が合わない」「静かにできないから」「衛生面が心配だから」「公民館で借りているから」などがあった。



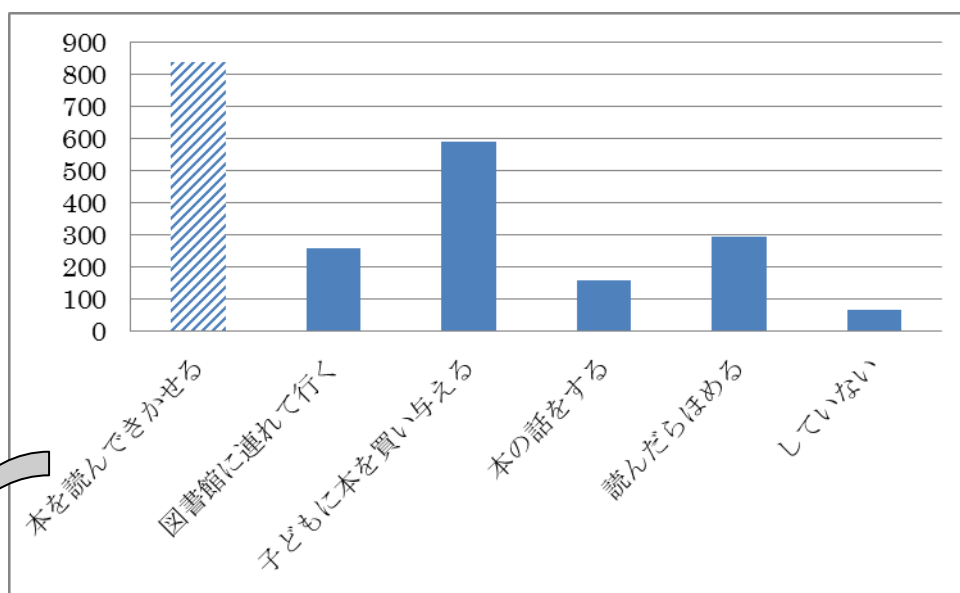
図書館を利用しないのは、本に興味がないわけではないようです。中には「図書館がどこにあるか知らない」と答えた方もあり、こうした方々に、どう応えていくかが大きな課題です。

子どもの読書について

(6) お子さんに本（絵本・図鑑を含む）への興味づけをしていますか？（いくつでも可）

- ①本を読んでかせる
- ②図書館に連れて行く
- ③子どもに本を買い与える
- ④本の話をする
- ⑤読んだらほめる
- ⑥していない

①読みかかせ	②図書館に行く	③本を買う	④本の話をする	⑤ほめる	⑥していない
840人	260人	592人	161人	297人	68人

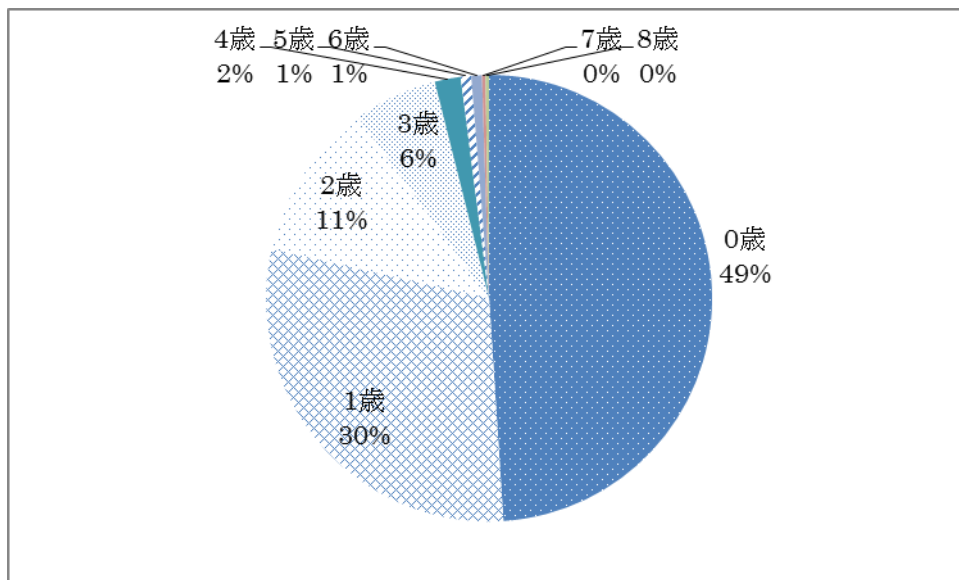


(8)~(10)へ

(7) あなたが読書の働きかけを始められた時の、お子さんの年齢をお聞かせください。

- ① 0歳 ② 1歳 ③ 2歳 ④ 3歳 ⑤ 4歳 ⑥ 5歳 ⑦ 6歳 ⑧ 7歳 ⑨ 8歳

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
575人	347人	135人	71人	22人	9人	9人	3人	3人



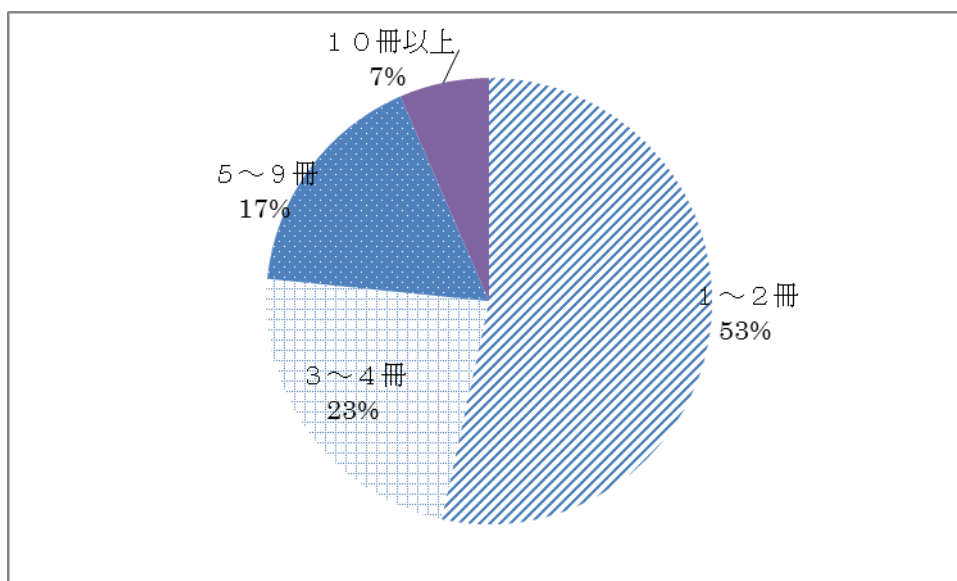
第1次子ども読書活動推進計画を始めたころは「0歳から絵本を」というと奇異に感じるという声も多かったですが、実施10年を迎え意識が浸透してきたことが伺えます。

(8)～(10)は(6)で「①本を読んで聞かせる」と回答された方にお尋ねします。

(8) あなたが1週間にお子さんに読んであげる本の冊数は何冊ですか？

- ① 1～2冊 (週1冊程度) ② 3～4冊 ③ 5～9冊 (1日1冊程度) ④ 10冊以上

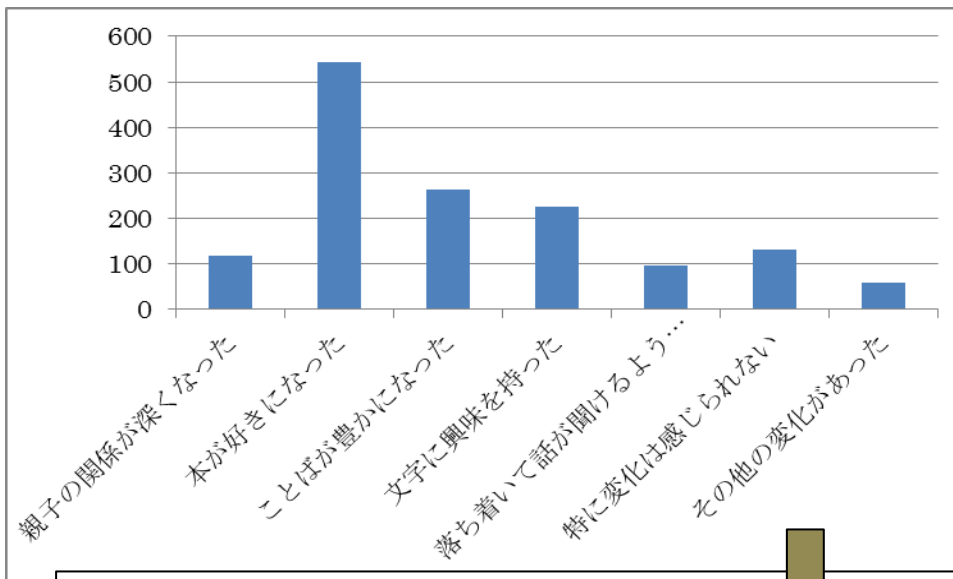
① 1～2冊	② 3～4冊	③ 5～9冊	④ 10冊以上
484人	210人	153人	59人



(9) お子さんに本を読んであげようになって、何か変化はありましたか？

- ①親子の関係が深くなった ②本が好きになった ③ことばが豊かになった
- ④文字に興味を持った ⑤落ち着いて話が聞けるようになった ⑥特に変化は感じられない

①親子の関係が深くなった	②本が好きになった	③ことばが豊かになった
117人	544人	262人
④文字に興味を持った	⑤落ち着いて話が聞ける	⑥特に変化は感じられない
226人	95人	131人



お子さんに本を読んであげようになって感じられる変化について（自由記入欄より）

- 0歳児
本をめくり、指差しをする。読むフリをするようになった。絵を指差して話をするようになった。
- 1歳児
指差して、名前を言う。本の中の物と、実物を結びつける。本のフレーズに反応するようになった。
- 2歳児
自分からすすんで読んでと言ってくれるようになった。生活と本の内容を結びつけ確認している。本を大切に扱うようになった。
- 3歳児
本の内容を覚えて、話してくれる。自分で物語を話したり、言葉を伝えたりする力がある。

お子さんに本を読んであげようになって感じられる変化について（つづき）

■ 4 歳児

寝る前に読み聞かせをする習慣がついた。話を作って楽しんだり、知識が増えたり、文字に興味を覚えて自分で読むようになってきた。

■ 5 歳児

本に関心を持ち、自分で読もうとするようになった。

■ 6 歳児

読んだ本の内容をきかせてくれる。親子で読書体験を共有できる。

■ 7 歳児

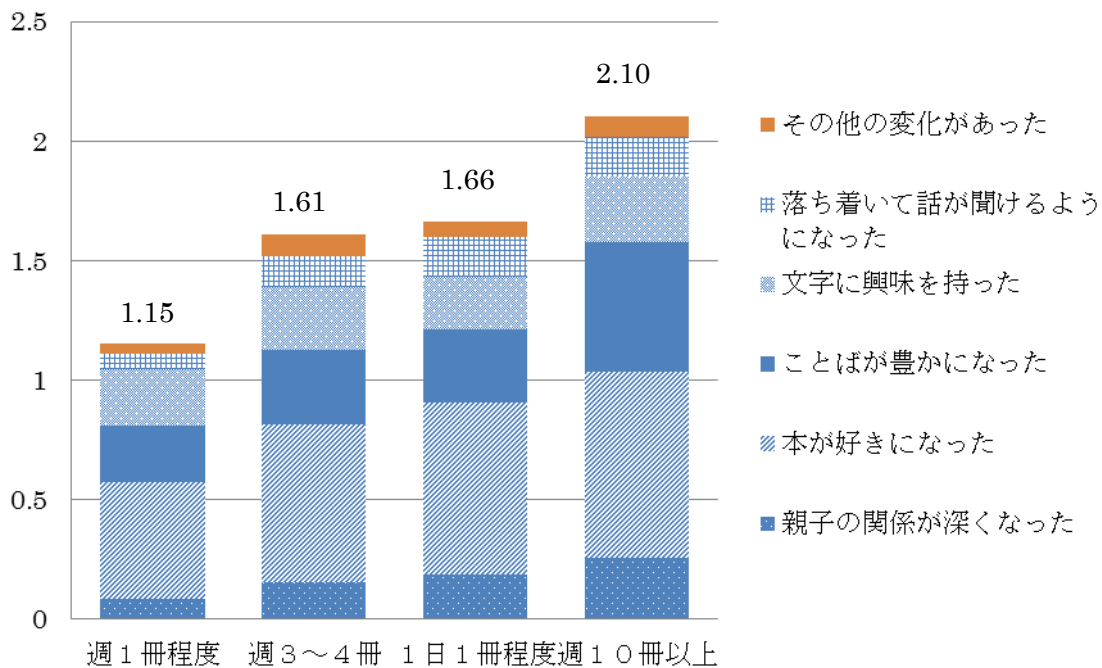
字を読むスピードが早くなった。文章力がついた。

■ 8 歳児

覚えてない漢字も読める。国語が好きになった。作文が好きだ。

親子で絵本を読むことで、子どもたちは本と実生活を行き来し、本の世界も、実生活も共に深まっているようです。「主人の子どもへの読み聞かせが習慣となり、子どもが楽しみに本を選ぶ姿を見るのが嬉しい。」など、親子、夫婦、家族の関係にも良い影響を与えていることが実証されたように思います。

本を読んであげる冊数とお子さんの変化

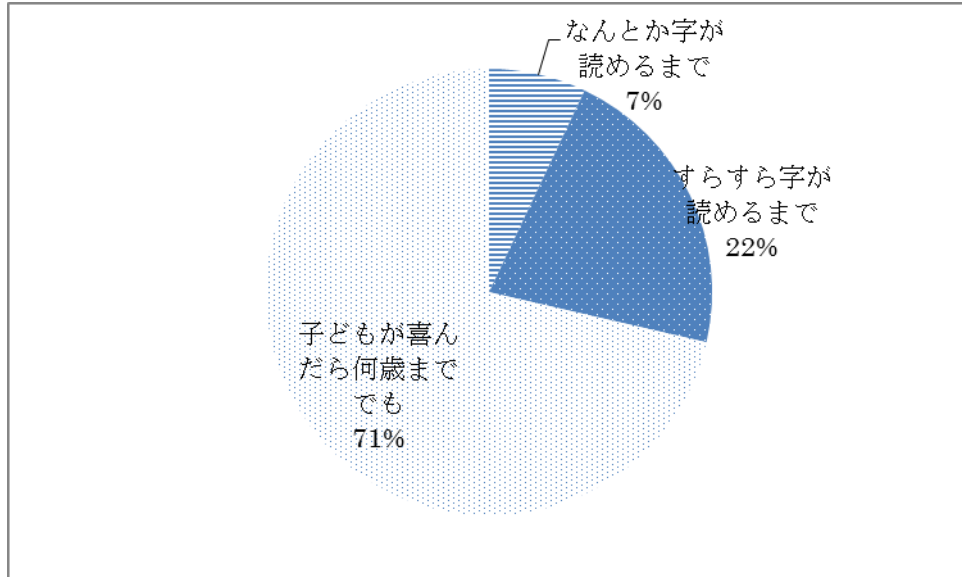


本を読んであげる冊数ごとに、お子さんの変化をいくつか感じられるか比較しました。習慣的に本を読んであげると、効果が高いことを示しています。

(10)いくつくらいまでお子さんに読み聞かせてあげたいと思いますか？

- ①なんとか字が読めるまで ②すらすら字が読めるまで ③子どもが喜んだら何歳まででも

① 67人	② 205人	③ 679人
-------	--------	--------

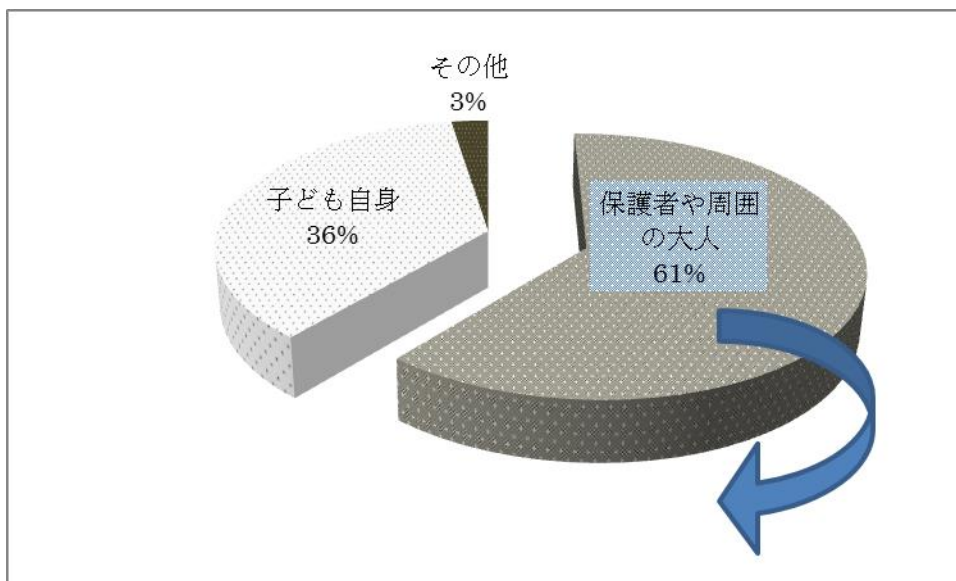


自分で本を読む喜びと、自分のために本を読んでもくれる人がいる喜びは別物だという考えが浸透してきたようですが、更に広めていきたいと思えます。

(11)お子さんのための本を選ぶのは誰ですか？

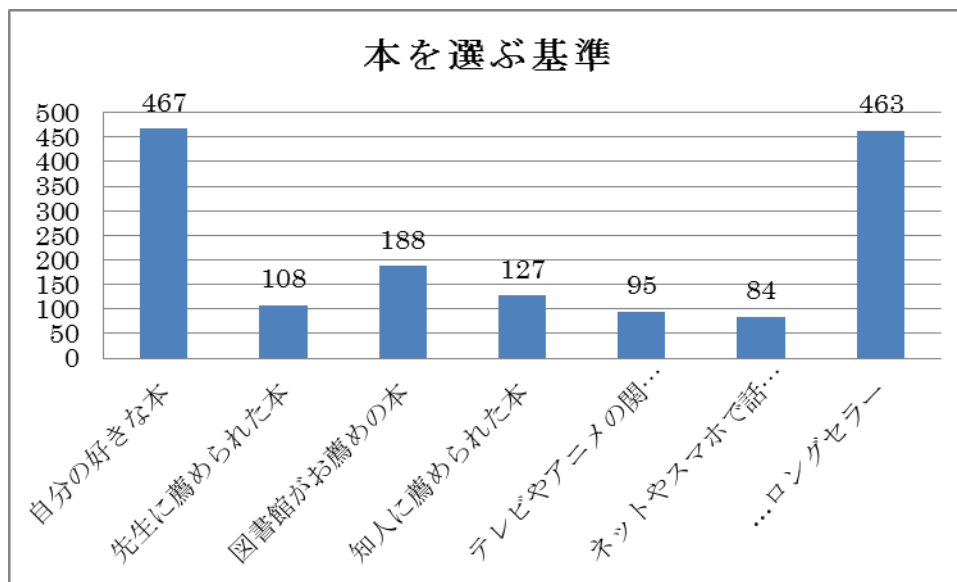
- ①保護者や周囲の大人 ②子ども自身 ③その他

① 720人	② 425人	③ 29人
--------	--------	-------



(12) (11)で①と回答された方にお尋ねします。本を選ぶときに、何を基準にしますか？（近いもの3つまで）

- ①自分の好きな本 ②先生に勧められた本 ③図書館がお勧めの本 ④知人に勧められた本
 ⑤テレビやアニメの関連本 ⑥ネットやスマホで話題の本 ⑦『ぐりとぐら』のような
 ロングセラー



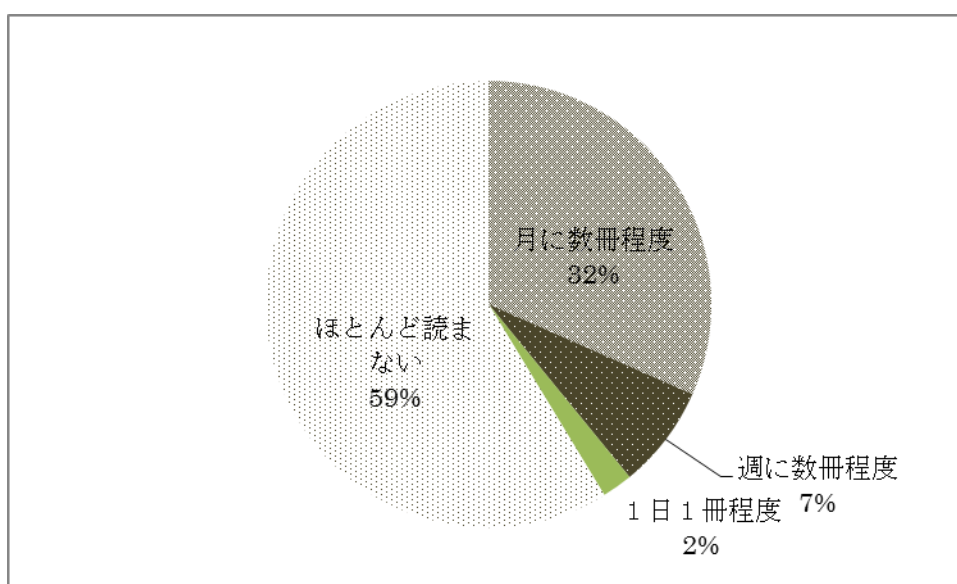
最近、テレビやネットの影響がもっと大きくなっているか確認したかったのですが、お子さんのために確かな本を選ぼうという姿勢が見られました。

あなたについて

(13) あなた自身が、過去1か月間に読んだ本の冊数は何冊ですか？

- ①月に数冊程度 ②週に数冊程度 ③1日1冊程度 ④ほとんど読まない

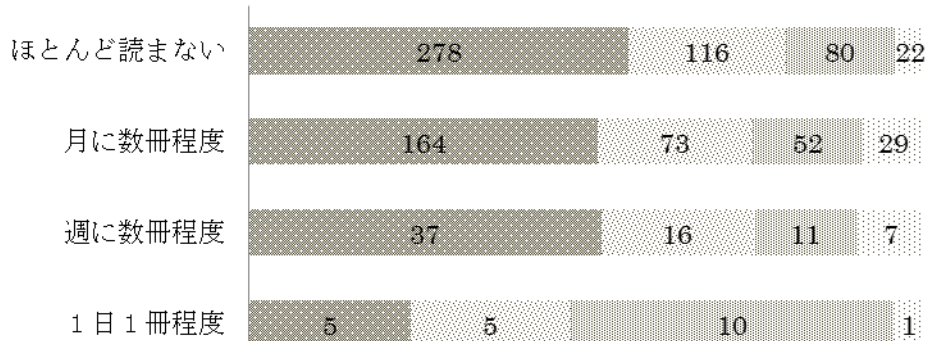
① 371人	② 88人	③ 26人	④ 689人
--------	-------	-------	--------



保護者の1か月の読書量と、子どもに1週間に読んであげる冊数

■ 1～2冊（週1冊） ※ 3～4冊 ■ 5～9冊（1日1冊） ※ 10冊以上

1週間に子どもに読んで
←あげる本の冊数



↑ 保護者が過去
1か月に読んだ本の冊数

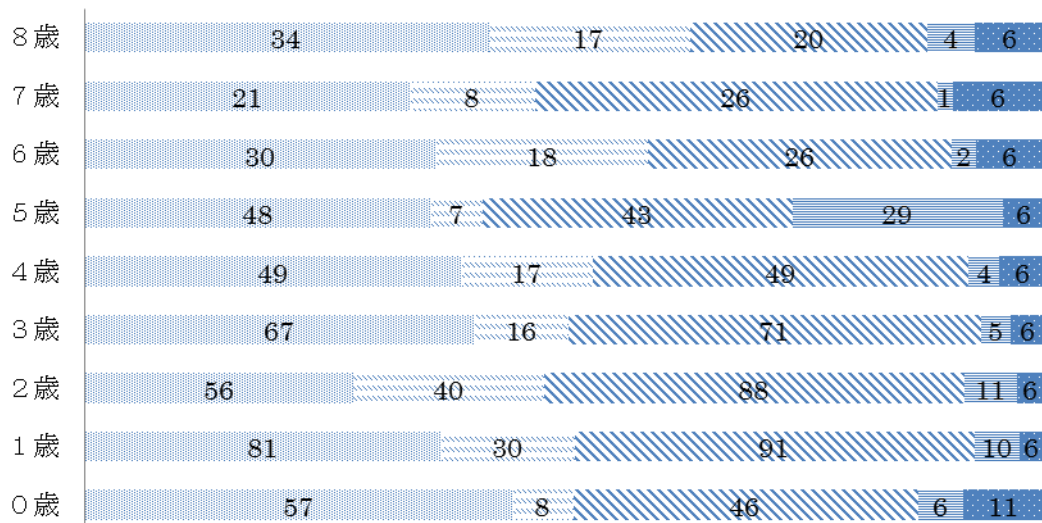
保護者が読書をする、子どもへの働きかけも増え、それが子どもの読書にも良い変化が表れる傾向があると言えそうです。

(14) 図書館・学校・園などに、お子さんのためにどのような工夫を望みますか？

- ①おおすすめ本などの展示 ②ブックリストなどの配付物 ③おはなし会などの行事 ④インターネットなどでの情報提供

お子さんの年齢と、保護者が求めること

■ 展示 ※ 配付物 ◆ 行事 ■ 情報 ■ その他



問(14)は現代人は、もっとインターネットでの情報を求めているかどうかの設問でしたが、意外と紙媒体や体験型である行事の希望が高いことがわかりました。子育て世代にはネットサーフィンしている余裕はなく、今でも実物が求められているといえます。

⑤その他：「(特に) なし」以外に記入いただいたご意見。

■ 0歳児の保護者より

- ・園や学校で1日に5分でも読書の時間を設けてほしい。子どものときの読書は大人になっても役に立つと思う。
- ・もっと手軽に本を読めるように。本は好きなので私にも子供にももっと身近に感じられるようにしてほしい!
- ・周囲の大人自身が読書することで、子どもも読書が楽しいものだと思えるのではないかな。

■ 1歳児の保護者より

- ・図書館が近くにない、車も停めにくいでは足が遠のく。公民館など身近に本を手にとれるよう工夫してほしい。
- ・おすすめの本を紹介してほしい。
- ・ブックリストももらったし、読み聞かせもしてもらっているのだから、ありがたい。
- ・子供がまだ静かにできないので、小さい子用のフロアやキッズスペースがあったら、利用しやすい。
- ・探しやすさを望む。借りたい本がどこにあるかわかりにくい。
- ・子どもが読みたい本を置いてほしい。人気の作者や、今話題の本など。

■ 2歳児の保護者より

- ・保育所等で本が借りられる、借りた分だけスタンプを押してもらえると、本にも自然に親しめると思う。
- ・良書を身近に手に取れる環境（保育所内に図書室・図書コーナーを設ける、年長児は貸し出しも出来る等）を望む。
- ・園で読んでいる本、年齢に合った本など教えてほしい。

■ 3歳児の保護者より

- ・通っている保育園で本を貸出ししてもらえると嬉しい。
- ・小さいころ読んでいてもう読まなくなった絵本の活用を考えてほしい。
- ・土日に近くの公民館に読み聞かせに来て欲しい。
- ・図書館の本が検索をしても見つけにくいので、工夫してほしい。
- ・毎日1冊短い内容の本を園で読んでくれますが、もう少し長い物語も読んで欲しい。
- ・どんな本を買えばいいのか、年齢によってわかりにくい。おすすめの本を沢山教えて欲しい。
- ・今でも十分すぎるくらいだ。
- ・図書館は幼児書（絵本）0歳～3歳までの本を増やしてほしい。
- ・目新しさが感じられるよう棚の入れ替えをしたり、おすすめ本（季節にあったもの）の展示をしてほしい。
- ・保育所、幼稚園で、先生が読み聞かせをしてくださるので、本に興味をもち、家で読んでくれるのでありがたい。
- ・小学校で1冊の本を少しずつ先生が読んでくださると、少し難しめの内容でも、子どもたちは楽しむと思う。
- ・1ヶ月の間に1冊読んで、月末に感想文を提出する宿題を出してもらえたら、読書と作文どちらも上達すると思う。

■ 4歳児の保護者より

- ・本が探しにくい。人気の本がなかなか借りられない。予約も何ヶ月待ちとかなると読む気が失せると思う。
- ・年齢に合った本がわかりにくいので、図書館や園でもっとアピールをして欲しい。年齢別に配置するとか。
- ・保育所でも貸し出し日が設けてありますが、本が傷んでいます。また、先生もお忙しそうなので、声をかけにくい。身近に本を借りたり、絵本に触れる機会がもっとあればいいと思う。

- ・遊びブックのラインナップ。迷路、まちがいさがしの本を借りたい。
- ・駐車スペースを増やしてほしい。

■ 5歳

- ・図書館の駐車場がいっぱいだと行っても引き返すことが多い。周囲にも同じ声が多いので改善してほしい。
- ・駐車場を広くしてほしい。城内は無料の30分では子供と自分の本を選ぶには短か過ぎる。いつも500円かかるのでとても損な気がする。でも、たくさん本があるので利用したい。
- ・ブックトークをした上での展示で、子どもの興味や読んでみたいという意欲づけになると思う。
- ・ビデオなど流さずに先生が読み聞かせをしてほしい。ビデオを見せて職員がその間に別の仕事をしているのは残念。
- ・図書館貸出本人気ランキングを展示してほしい。
- ・図書館が近くにない場合、保育所のように小学校の図書室を平日夕方や土日にオープンしてほしい。
- ・今までとおりでよい。
- ・新しい情報がのっている本をたくさんおいてほしい。

■ 6歳児の保護者より

- ・子供のコーナーで、おすすめ作家「今月の絵本作家」など特集をしてもらえたら、借りやすいし楽しいです。
- ・読み聞かせの機会を増やす
- ・学校の図書室に子どもたちが安易に読める流行りのようなものをできるだけおかないようにしてほしい。

■ 7歳児の保護者より

- ・保育園時代にステキな本と出会ったが、どなたかにゆずる機会があればいいなと思うので、リサイクルしてほしい。
- ・読書クラブをつくって、本を読むのはもちろん、子供たちが子供たちの言葉で本の情報発信してほしい。
- ・読書スタンプラリーをしてほしい。

■ 8歳児の保護者より

- ・貸出し中が多いので、予算をかけて本を増やしてほしい。
- ・学校図書の実、公民館図書の実、絵本作家の話をもっと直接聞く機会を望む。

一部に好意的な意見もあり、読書活動の浸透がみられます。反面、図書館では0歳から18歳までの『おすすめ本リスト』を作成し配布しているにもかかわらず「おすすめの本を紹介してほしい」などの意見もあり、周知が不十分な面があるようです。これらの課題を洗い出し、第3次計画において更に子どもたちの身近に読書環境を整えていくよう努めます。